

# 県立新発田病院だより

第65号 2019年7月発行

新潟県立新発田病院

〒957-8588 新発田市本町 1-2-8  
TEL.0254-22-3121 FAX.0254-26-3874  
<http://www.sbthp.jp/>

## 【当院の基本理念】

1. 県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんに優しく安全で信頼される病院を目指します。
3. 保健福祉・医療機関と連携して地域の基幹病院としての役割を担います。
4. 教育・研修を積極的に行ない、医療の未来に貢献できる人材を育てます。

## 目次

- P 1. 巻頭言：元年  
P 2. 病院トピックス：X線(レントゲン)と造影剤のお話  
P 3. 地域連携センターからのお知らせ、ミニクイズ  
P 4. 患者さんの声、患者さんの権利、編集後記

## 元 年

事務長 松 浦 啓 之



令和の時代が始まって3か月が過ぎようとしています。英語で説明する時には、Beautiful Harmonyとするらしいです。この4月から事務長になった松浦です。どうぞよろしくお願ひします。

令和の時代と言われても、年度が一旦終了するわけでもないのに、特別な思いもなかったのですが、メディアの報道や特集を見ているうちに、潮目の変化を自ずと感ずることとなりました。

西暦は数字が一つずつ増えるだけですが、日本には元号があり、改元はある章の終わりを意味するという趣旨のことを一連の報道の中で耳にし、区切りを大切にす日本には、しっくりくる感じもして納得していました。

四季という節、年を幾重にも重ね、我が国の歴史は248番目の章を迎えています。

さて、元年5月に平成最後の県立13病院の決算が発表されました。13病院全体で18億円の純損失を計上し、債務超過額も21億円となりました。

当院も2億5千万円の純損失となり、当院としては4年ぶりに赤字を計上しました。

県立病院は、このままの経営状況が続けば、令和2年度末にも運転資金が底をつきかねない、危機的な状況にあります。

公営企業という「企業」である限り、経営を改革し、黒字化を目指さなければなりません。待ったなしの取組です。

この改革は、単に収入アップを図るとか経費削減をするとかの短期的なことを考えるだけでは、成し遂げられません。下越医療圏内の医療供給体制の変化を踏まえ、基幹的病院としての当院の機能・役割を今一度確認し、同じ医療圏内の病院・診療所・介護保険施設の役割分担・連携、当院のスタッフの思いなどが調和することで、初めて改革は良い方向に行き、それに黒字化が付いてくるものと思っています。

いずれにしても、令和元年は県立病院全体で抜本的な経営改革に取り組む、改革元年としなければなりません。

私的なことで申し訳ありませんが、元年生まれの家族が一人増えました。昭和、平成、令和の三つの時代それぞれに生を受けた者が揃うと、生年月日を元号で覚えていた場合、年齢がすぐには出てきません。R18の法則など、それぞれの元号と西暦間での換算方法があるようですが、それすら覚えられそうにありません。生年月日だけは西暦で記憶していこうと思っています。



# X線（レントゲン）と 造影剤のお話

診療放射線技師長 天 木 淳



X線は1895年レントゲン博士により発見されました。発見時、光のような性質を持つが正体のわからないものということで「X線」と名付けられました。そして博士の名前からX線を使った撮影をレントゲン撮影と言うようになりました。今でも「X線撮影をしましょう。」というより「レントゲンを撮りましょう。」と言った方がわかりやすいようです。X線は胸部、腹部や骨の単純撮影をはじめ、CT、血管撮影、胃透視、骨密度などの検査で使用されています。（ちなみにMRI検査は磁気と電波を利用しています。）

X線は人体を透過する性質を持ちますが、骨や体内の空気、筋肉や臓器などの違いによりそれぞれ透過する割合が変わります。つまりX線写真はX線を使った影絵のようなものです。そこで人体よりX線が透過し難い金属類などは目的とする場所の形が見え難くなるので、検査の時に外して頂くことがあります。

実際にX線を使って検査をすると体の中の骨や空気と違ってそれ以外の筋肉や内臓、血管などは比較的X線の透過する割合が似ているため、その位置や形、内部の状態などがわかりにくい場合があります。そこで使用するのが造影剤です。造影剤には口から飲むもの、静脈や動脈などの血管内に注入するものなどがあります。造影剤はX線が透過しにくい物質でできているので、その名のとおり影を造る薬剤というわけです。造影剤が体内に入ることによって胃や腸などの内側の壁の形、血

管や各臓器の位置や形などがわかりやすくなります。また場合によっては出血している場所や炎症部位、腫瘍の位置、形などがわかる場合もあります。検査後、口から飲んだ造影剤は便と共に、血管内に注入した造影剤は尿と共に排泄されます。

造影剤は安全な薬剤ですが、稀に副作用を起こす方がおられます。そこでCT検査などで使用するヨード造影剤はヨードアレルギーのある方、腎機能が低下している方、一部の糖尿病薬（ビグアイド系糖尿病薬）を服用されている方などは、造影剤が使用できなかったり、点滴等の前処置が必要だったり、糖尿病薬を一時服薬停止してもらったりなど、その状態に合わせた対応が必要になります。安全に造影剤を使用した検査を受けて頂くために問診票等の記入をお願いしていますので、ご協力をお願い致します。また、検査について不安なことが有りましたら、医師、看護師、診療放射線技師などにお尋ね下さい。



# 地域連携センターからのお知らせ

地域連携センター

専門相談員 柴田正裕

初夏から盛夏に移ろうとする時期 何かと体調を崩しがちな時期ではありますがいかがお過ごしでしょうか。

今回は、新潟県立新発田病院に設置されている地域連携センターについてご案内をしたいと思います。今日、福祉、医療、介護をめぐる状況は大きく変わってきております。そのために構築されたのが地域包括ケアシステムです。各地域に住んでいる高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで持続できるように、介護や医療、さらには住まいや生活支援といった、高齢者を支えるサービスを一体的に提供するシステムです。団塊の世代の方たちが後期高齢者となる2025年がもうすぐそこまで来ています。地域包括ケアは高齢者だけではなく障害を持った人や様々なマイノリティの人たちが住み慣れた地域で生活できるシステムになっていくことが期待されます。

私たちの地域連携センターは、当院1階に設置されており12番受付が窓口です。看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務職員から構成されており、様々な疾患により当院に受診、入院をされた方々が回復され住み慣れた地域で生活できるように次のようなシステムを運用しております。

患者さんが入院されると受け持ち看護師が3日以内に退院への支援の課題についての整理を行います。ご支援の必要な患者さんについては、入退院支援計画書を立案し、1週間以内に多職種によ

る検討を行い、患者さん、ご家族への説明を行うとともにケアマネジャー（介護支援専門員、相談支援専門員）がいらっしゃる場合には速やかに介護支援等連携指導を行います。こうした取り組みにより入院から退院まで患者さんもお家族も安心して療養をすることができます。またがん相談や在宅療養へのサポート体制の充実にも取り組んでおり、早期に問題解決ができるよう取り組んでおります。

先日、退院して初めての外来受診をされた方があいさつにられました。入院手術で足腰が弱り退院に不安を抱えておられましたが、要介護認定、ケアマネジャーの届け出、介護ベッド、デイサービスなど退院までに準備ができ安心して自宅での生活が送れているという嬉しい報告を満面の笑顔で頂きました。これからも地域の皆様が安心して治療と生活が両立できるよう支援体制の充実を図っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



東京オリンピックまであと1年！多様な食文化に出会う機会も多くなるかもしれませんね。各国の伝統的な食事と国旗を正しく組み合わせ、線をつないでみましょう。



ミニクイズ

①	②	③	④
A ケバブ	B ピザ	C カンガルーミート	D ガスパチョ

回答は4ページにあります。



## 投書箱から

### 《患者さんの声1》

エレベーター内に“イス”を設置してはどうでしょうか！

特に病院に来る人は、年寄りの方が多いと思いますし、身体の不自由な人（足、腰、ヒザ等々）が乗るので、少しの間でも腰を掛けられるようにやってみようかなと思います。（ホテルなどでよく見かけるとは思います。）

### 《回答1》

ご指摘のありました件について、当院の乗用エレベーターは面積がそれほど広くなく、また、車いすや点滴スタンドを使用している患者さんもいらっしゃるため、エレベーター内にイスを設置しておりません。ご理解くださるようお願いいたします。

### 《患者さんの声2》

お湯がほしい！

### 《回答2》

デイルームには火傷や転倒等のことを考えて給湯器やポット等の設置はありません。お湯が必要な時には看護師にご相談ください。

### 《患者さんの声3》

とても親身に話を聴いてくださった地域連携センターの●●看護師が退職されたこと知りとてもショックを受けています。些細なことでもきちんと話を聴いて寄り添ってくださる看護師さんでした。感謝の気持ちが伝えられず残念です。

今日、初めて相談させていただいた●●相談員もとても穏やかに受け止めてくださる方で安心できました。ありがとうございました。

### 《回答3》

感謝のお言葉をいただきまして、大変ありがとうございます。今後もより良い対応を提供できますように、職員全員で取り組んでまいります。

### 患者さんの権利

- 患者さんならびにご家族は、患者さんの病状、医療の内容につき十分な説明を受けることができます。そのうえで患者さんは、自らの希望する最適な治療を選択する事ができます。
- 患者さんは、プライバシーを守られ、個人として尊ばれる権利があります。国籍、人種、信条、社会的身分、経済的状態などによる差別を受ける事はありません。
- 患者さんは、安全で快適な療養環境の提供を受けることができます。また患者さんならびにご家族は、自らの希望・意見を述べる事ができ、それを尊重される権利があります。

### ミニクイズ ～回答と説明～

答え ①とB：イタリア

②とD：スペイン

③とA：トルコ

④とC：オーストラリア



文化が違えば食文化も違います。異国の食文化の理解は、異文化交流のはじまりです。東京オリンピックを機会に、他国のグルメを楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 編集後記

令和最初の新発田病院だよりです。令和の由来は、春の訪れを予感させる梅花の姿が詠まれた歌の序文だそうです。改元から2ヶ月が経ち、暑い季節となりました。栄養をしっかり摂り、体調管理に気を付けて楽しい夏を過ごしたいですね。

### 《編集委員》

清野 康夫	三井田 博	浅野 堅策
小滝江里子	米持 賢一	三浦 駿
山岸 知未	金田 園子	輪倉さくら
中坪 繁	源川 恒一	田野 貞